

## 平成 25 年度 政務活動費 先進都市調査報告書

<b>会派名</b>	新緑会
<b>議員名</b>	早坂 博 羽立 秀光
<b>調査実施年月日</b>	平成 25 年 2 月 14 日 (金)
<b>調査先 自治体名等</b>	愛媛県 松山市
<b>調査項目</b>	「学生による政策論文募集事業」について
<b>調査目的</b>	本事業の実施に至る経緯、提案に対する対応、今後の課題等についての調査
<b>報告内容 実施したこと</b>	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口: 517,838 人 行政面積: 429.03 km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容 「学生による政策論文募集事業」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実施に至った経緯</li> <li>・今後課題等</li> </ul>
<b>感想(まとめ) 本市へ生かせること等</b>	<p>松山市では、大学や短期大学、専門学校が数多く所在するため、それらの学生に「まちづくり」や行政に関心をもってもらおうとともに、若い活力や柔軟な発想をまちづくりに取り入れようと、「学生による政策論文募集事業」を始めました。</p> <p>論文の募集テーマは、松山市の魅力あるまちづくりや市民生活の向上に関することなどで、市政全般に関する幅広い分野となっています。論文の募集は2カ月間で、その後、専門委員が事前審査を行い、事前審査を通った論文を作成した学生がプレゼンテーションを行います。プレゼンテーション終了後、最優秀作品が決定し、最優秀作品に選ばれると10万円相当の賞品が贈呈されます。</p> <p>過去に入賞した論文の中には、実際に市政に反映されたものもあり、「情報のバリアフリーを目指して」という論文は、論文の内容が反映されたバリアフリーマップが作成されるなどの動きもありました。</p> <p>同事業は、平成11年度から始まり、平成25年度まで計15回実施され、すっかり定着した事業となっているとのことです。しかし、課題として、その年により論文の応募件数にばらつきがあり、多い時には207件あったものの、平成25年度は、41件と過去最少となり、今後の論文応募が先細りとなるのではないかと懸念が指摘されています。</p> <p>松山市は、前述のとおり大学や短期大学、専門学校が数多く所在し、学生が約20万人と人口の半分近くを占めているとのことであります。本市は、大学、専門学校も少なく、松山市のように同じ市政に興味を持ってもらおうという取り組みは、参考になる部分があるのではないかと感じました。</p>